

# コミュニティFM局を 活かしたまちづくりWG

なみえFM準備会

# メンバー



西 健志

・FM SAGAMI、FMモットコムパーソナリティ経験者  
・現役パーソナリティ/ミュージシャン  
☆技術面も喋りもお任せあれ

2024年10月 準備会メンバー（有志）  
2026年4月 コミュニティFM局 局長（正社員）



古屋 かおり

・FM SAGAMI、FMモットコムパーソナリティ経験者  
・現役パーソナリティ/ミュージシャン  
☆毎日、明るくさわやかな声でお届けします

2024年10月 準備会メンバー（有志）  
2026年4月 コミュニティFM局（正社員）



及川 里美

・浪江町職員（業務外での関与）  
・一般社団法人浪江青年会議所 所属  
・浪江町オリジナルソング「いくどはあなみえ」の歌手  
・福島放送「シェア」の県民リポーターとしてテレビ出演中  
☆故郷に対する想いは誰にも負けません  
2024年10月 準備会メンバー（有志）  
2026年4月 コミュニティFM局（外部サポート）



葛西 優香

・かつしかFMパーソナリティ・番組企画・営業経験者  
・株式会社いのちとぶんか社 取締役  
☆なみえでのコミュニティFM開局が夢です

2024年10月 準備会メンバー（有志）  
2026年4月 コミュニティFM局（業務委託）

浪江町ご出身、アーティストであり、行政書士の方。  
南相馬のさいがいのFMの運営に関わられていたカメラマンの方。  
その他にも、町民、浪江に関わる方みんながFM局について考えたい。

## 浪江町のコミュニティFM局の特徴

① 情報提供 + 多様な層の交流拠点



② 「つながりたい」をつなげる



③ 町民の命を守る



④ 帰還促進



⑤ 移住定住促進



# これまでの活動

・まずは、聴く習慣のニーズ把握➤サンプル番組 制作中

【コーナー】

飲食店紹介、浪江分署からの交通情報、高校生による企業インタビュー

・F-REIの皆様とのコーナー企画→実行（公開収録実施）

5月20日（水）山崎光悦さんと大橋未来さんとのセッション

# これまでの活動



F-REIさんと  
 お近づきになろう!!

なみえFM × 浪江町  
 × エフとも

エフレイ  
**F-REI**さん  
 と  
**クロストーク**

この地域の好きな  
 ところは?

F-REIのみなさんっ  
 てどんな人?

**パーソナリティー**  
 葛西 優香

**ゲスト**  
 F-REI理事長  
 山崎 光悦 氏

**パーソナリティー**  
 大橋 未来

2026 **5.20** (水)  
**14:00 - 15:30**

**浪江町民**  
 対象

**入退場**  
 自由

MAP  
 浪江駅周辺整備事業・現地事務所  
 (中央公園の西側)  
 お車は、敷地内に  
 駐車してください

お申込みはコチラ▼

YouTube配信を前提とした公開収録を行います  
 収録後、参加者のみなさんと対話の時間もあります

問合せ：なみえFM   info@inochi-bunka.com




# 助成金の申請

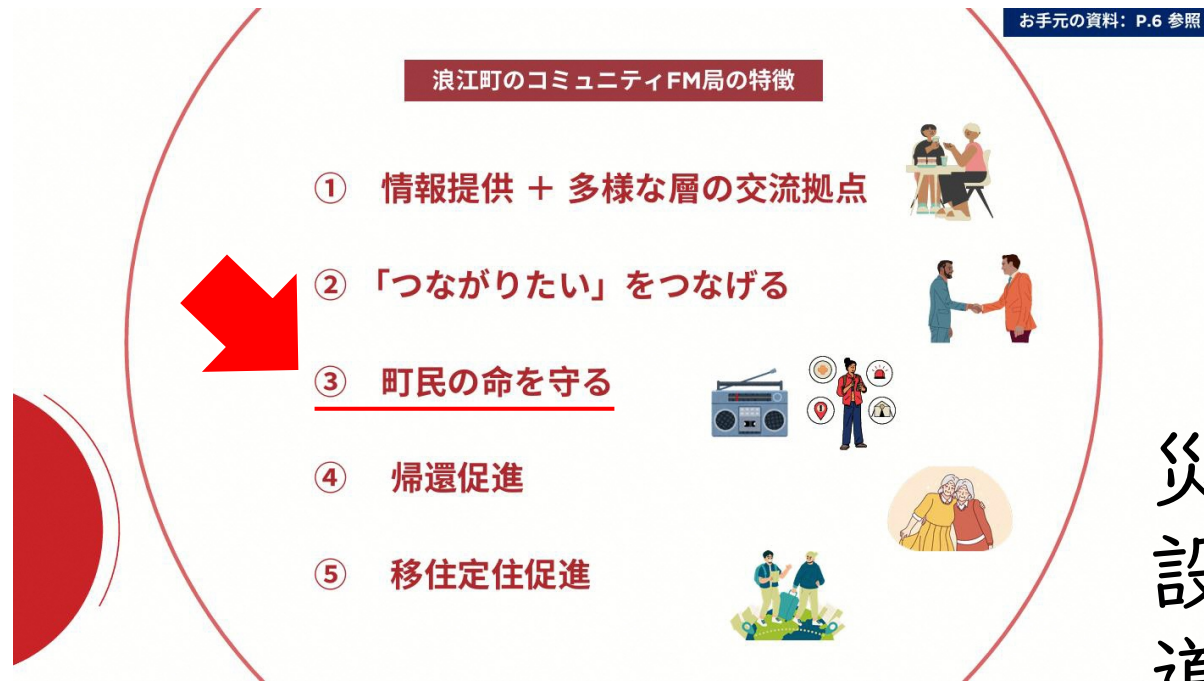
- ・放送するには企画作成、出演者依頼、台本づくり、収録、編集、、、時間がかかること。
- ・クオリティーを守りたい。ラジオご経験者のメンバーで取り組む中で、制作するならよきものを。

となると、時間と労力に見合った予算と設立予算、場所を検討せねばならない。

- 福島国際研究教育機構地域連携加速化事業補助金に申請、採択待ち。  
F-REIと自治体との連携必須。市街地整備課F-REI立地室にご依頼済み。

# 課題

- ・ラジオいつからやるの～？
- ・ラジオに関わりたい人がいるんだけど、、、
- ・「災害時に体制を整えるんだよね？」→それは本物だ。



災害時に機能する、電波機能、  
設備、スタジオの確保までの  
道のりは長い。

# 皆さんにお願いしたいこと

なので、まずはサンプル番組づくりを一緒にしていきたい。

目指すのは、町民がみんな出演したことがあるFM局。  
馴染みのFM局になることにより、災害時にも自然と聴く。  
普段から聴き慣れた声で伝えてもらうことにより、安心する。

みんなで創るFM局を目指して、次のコーナーを計画中。

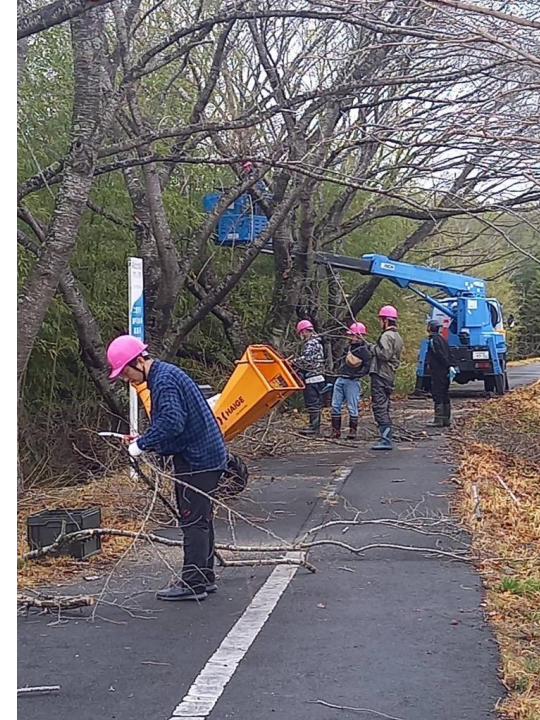
# 皆さんにお願いしたいこと

【なみえ町民の声を集めたコーナー】

- 住んでいるところ(浪江町以下、町外は市、町、県外は都道府県)
  - 名前(苗字、名前だけでも可)記名はフルネーム(後の名簿化のため)
  - 年齢
  - +
  - 職業、勤務先、肩書きなど  
(+移住者か、帰還者かなどもニーズ把握などで参考になるかも?)
  - 浪江町の好きなおところ
  - 浪江の未来に望むこと
  - 浪江の美味しいもの、名物、名所、お土産
  - ショートバージョンは内容を選んで、だいたい20sec目安に  
(ラジオ化した時のために)
- 30秒くらいでも編集で20秒にできると思います。
- SSではなく、番組やコーナーとして紹介できるように長めのバージョンもアリ?

スマホで声を収録し、  
メンバーに  
共有してください☆

他にもご一緒できる  
コーナー制作や  
企画案など大募集!



浪江町  
さくら祭り  
実行委員会

令和  
8年

4月10日(金) 雨天  
順延

震災後 第2回

# さくら祭り & 花火大会

請戸川リバーライン桜並木及び河川敷

桜並木のライトアップは  
花が散るまで開催!

浪江みんな  
な  
に  
集  
ま  
れ!

イベント内容

来場無料

10:00~19:00 露店・キッチンカーの出店

13:00~17:00 高所作業車による空中観桜(無料)

13:00~19:00 ・ステージイベント

「ステージ  
出演者」 西健志、ASAMI、ハヤミワオ、吉田タンス店  
山形明義、トキワマン、山椒屋小粒  
音楽工房弘前大津軽三味線サークル、太鼓波音

- ・浪江の桜写真展他展示ブース
- ・弘前大展示ブース

19:00~19:30 音楽花火の打ち上げ

昨年より  
20%UP

個人向け 有料観覧席販売  
観覧席(3m×1.5m)  
1マス…5,000円  
申込受付は、浪江町商工会まで

※駐車場は、サンブラザ跡地をご利用ください。  
[旧サンブラザ]浪江町権現堂上川原89

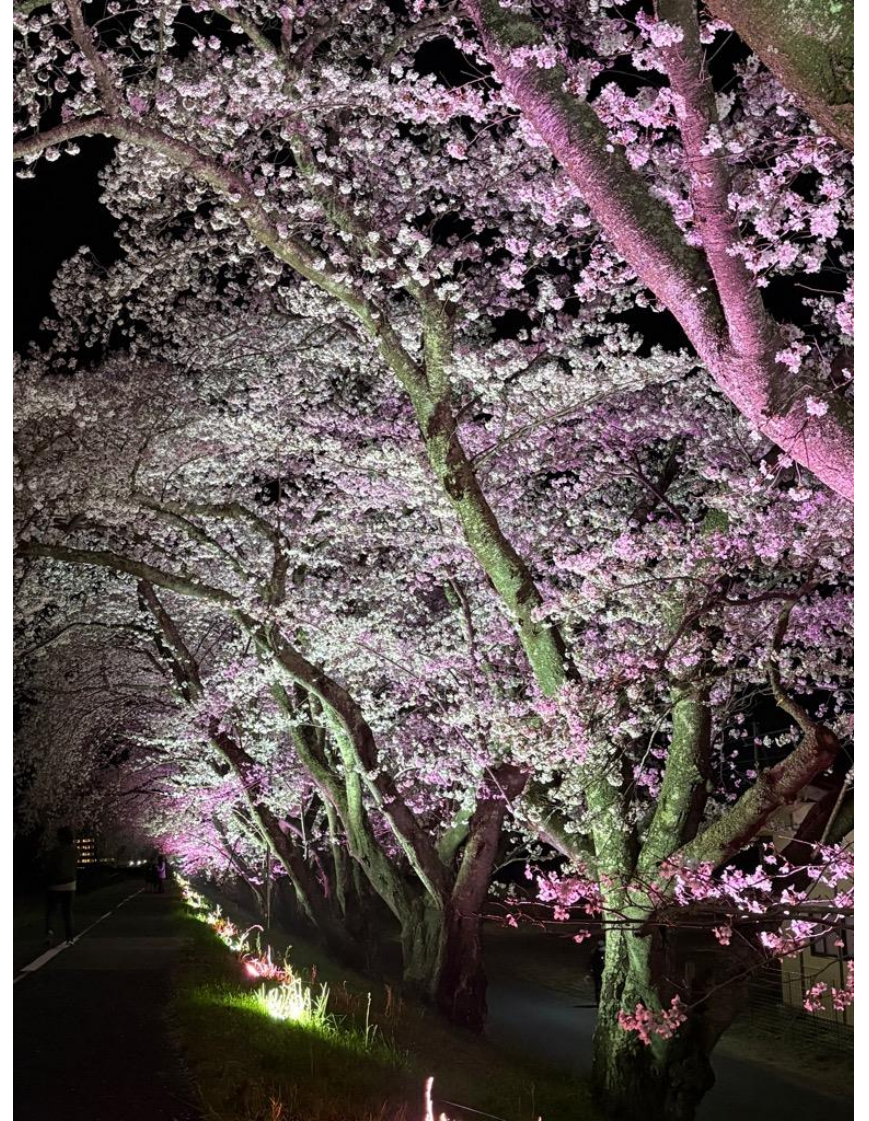


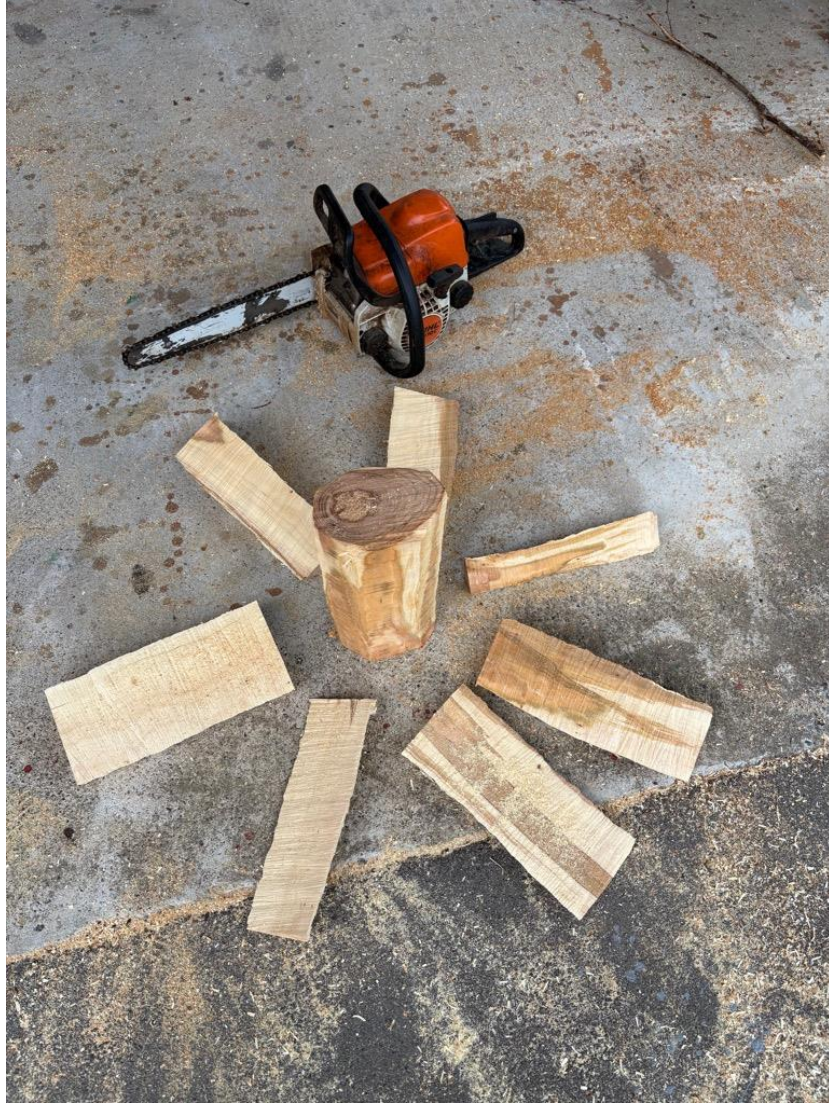
主催 さくら祭り実行委員会

後援 浪江町・福島民報社・福島民友新聞社

問合せ：小黒☎090-8923-9045  
(平日10:00~16:00)

共催 浪江町商工会・絆さくらの会・浪江ロータリークラブ  
権現堂区長会・浪江青年会議所・浪江町商工会青年部  
なみえアベンジャーズ・任意団体なみとも・いのちとぶんか社





# 成果発表会

## 浪江駅西側地区共創会議総会まちづくワーキング

## モビリティ ワーキング・グループ

**多様なモビリティで様々な移動を「ラクに 楽しく 安全に」**

次世代モビリティー  
誰もが楽しめ  
社会に役立つ未来の創造



2026年5月30日  
株式会社 マスヒロ

振り返り

# 第二回 2026年11月5日開催

(株) マスヒロ 増子

多様な小型モビリティを活用して、  
浪江駅西側地区を中心とした交通課題の解決につながる事業モデルを検討します。

域外から訪れる研究者、事業者、観光客、外国人をはじめ、住民、高齢者などの、  
多様な移動ニーズに対応する、シェアリングエコノミー（共有経済）の実現と、  
ゼロカーボンへの貢献を目指します。

エリアマネジメントや観光事業者との連携も検討し、  
サービスモデルの共創・実証を通じて、浪江町にフィットする仕組みを模索します。

- <特に参加を希望する事業関係者>
- ・事業実施主体となり得る地元パートナー
  - ・モビリティ関係者、交通事業者、旅行事業者
  - ・観光、地域振興・地域拠点施設関係者
  - ・高齢者支援関係者・再生エネルギー・交通DX

# 浪江から浜通りを変える！ 先端モビリティでまちづくりと観光造成

浪江町

MASUHIRO555.COM  
マスヒロ



観光バスに電動キックボード積んだ



復興庁

浜通り復興リビングラボ  
～サイエンス×官民共創まちづくり～

水素だよ!

楽旅が変わる！  
日本の観光スタイル

# 新しい街作り構想

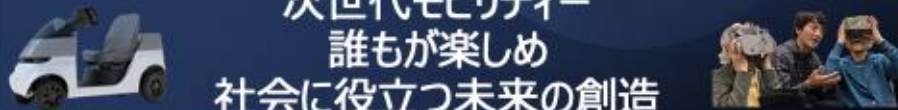
実現したい未来は、次世代のスマートシティ。

多様なモビリティを活用し、異なる課題やニーズを満たし、  
住む人と訪れる人が「ラクに楽しく安全」に移動できる街作り。

住む人が楽しめれば、より多くの訪れる人を呼び、  
地域の賑わいと触れ合いの創出により、地域の魅力向上に繋がります。

MISSION

次世代モビリティ  
誰もが楽しめ  
社会に役立つ未来の創造



MASUHIRO555.COM  
アスヒロ

ラクに 楽しく 安全に - 引率者付 無線付ヘルメット・走行中の動画撮影 -

実用新案 取得

MASUHIRO555.COM  
ラクナビ



HTT  
Tokyo Tokyo

Clear Sky  
大気環境の改善に取り組み中

HTT取組推進宣言企業

弊社の付加価値

感動の最大化  
【安全】有人対応 運転レクチャー  
【安心】引率者付きガイドツアー  
【思い出】動画データ提供 SNS拡散効果  
プロデュース ノウハウレクチャー



楽に楽しく安全に  
二次交通  
地域創生  
観光周遊

「物（車体）」+「車（コンテンツ達成）」  
包括的にソリューションをご支援  
電動モビリティで課題解決

MASUHIRO555.COM  
アスヒロ

# 電動モビリティを用いた 包括的なプラットフォーム事業

## 持続可能なゼロカーボン 街作り 観光コンテンツ

### MISSION

次世代モビリティー  
誰もが楽しめ  
社会に役立つ未来の創造



ソリューション支援  
(二次交通・地域創生・映像制作)

ソフト開発  
(アプリ・町巡りナビ・情報配信)

ハード開発  
(周辺機器・部品)

# 課題解決のコンテンツ造成 包括的なソリューション支援

二次交通 観光産業 地域創生

ワンストップ  
オールインワンで対応

MASUHIRO555.COM

マスヒロ



有形

ハード

- 電動キックボード
- 電動サイクル（漕がずに進める）
- 電動アシスト自転車
- 非電動モビリティ（お子様用まで）

有形

ソフト

- 保守
- 映像制作（ドローン空撮含め）
- LP/HP/パンフレット
- 運用ノウハウ
- アプリ

無形

コンテンツ造成

- ソリューション構築
- 運用ノウハウ コンサルティング
- 助成事業 申請～サポート

ここでしか出来ない

これでしか出来ない

MASUHIRO555.COM

マシヒロ



# 住む人の行動変容、訪れる人の周遊促進

次世代モビリティで誰もが楽しめて社会に役立つ未来の創造。  
多様なモビリティで様々な移動を「ラクに楽しく安全に」

## 【背景・課題】



便利な若者



不便な高齢者

真の意味でスマートな街作りには、住む人・訪れる人・子どもからお年寄りまで、全員のニーズを満たすモビリティが必要。

## 【事業概要・解決策】

様々なメーカーの代理店として、多種類モビリティを包括的に提供。地域の課題・機会に合わせたソリューション構築とコンサルティング。

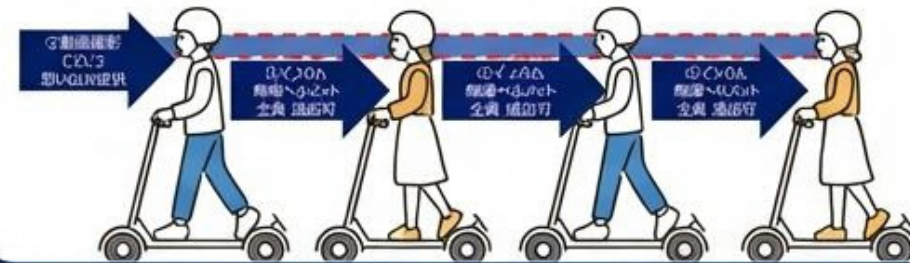


## 【特徴・独自価値】



唯一無二の価値：観光ツアー「楽旅-ラクタビ」(実用新案取得済)

- ・引率ガイドと参加者が無縛搭載ヘルメットで常時通話・意思疎通
- ・360度アクションカメラによる動画撮影(ドラレコ機能+思い出データ提供)
- ・参加者のSNS拡散による地域PR貢献



## 【目指す成果】

✓ 次世代のスマートシティ構想の実現

✓ 観光産業と雇用創出(ツアー造成とガイド養成)

# 包括的なプラットフォーム事業 交通課題解決と観光造成

【唯一無二】物と事をワンストップのオールインワンでご支援

**付加価値**  
**独自サービス**  
**地域毎にカスタマイズ**

**独自性**  
**モビリティ ツアー支援システム**



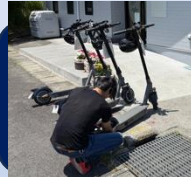
楽旅ライセンス  
**実用新案**  
 引率ガイド養成



映像制作  
 アプリ・HP・LP・  
 パンフレット



**差別化**  
**多様な車種**  
**バリエーション**



車体 定期  
 点検・保守



LTV：世代に応じて乗り物は変化

物を事へ

生涯で人生の主役：免許返納者まで対応



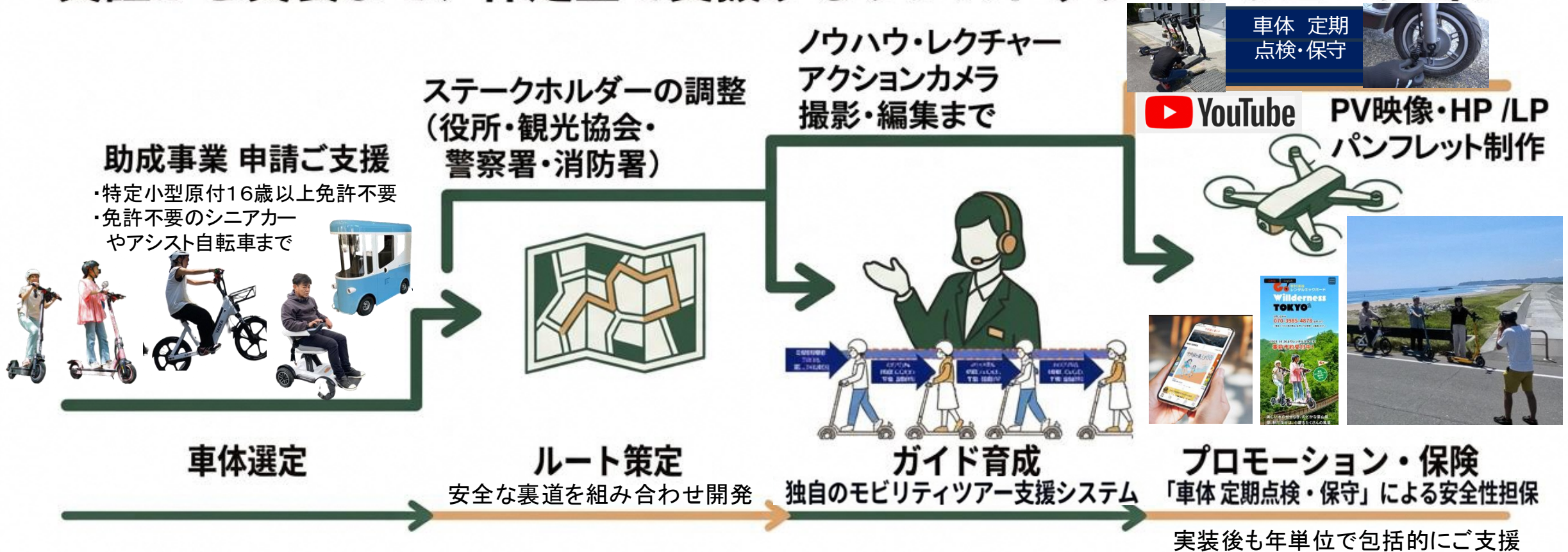
**強み：異なるメーカーの多様な車種を包括的なご提供**

画期的な企画を調査、提言提案だけでなく、それを実現するところまで、コンサルティングや共創推進、ビジネスマッチングなどのシナリオを描き、参画者のキャスティングや事業化プロデュースのサービスを提供。地域の交通課題や新たな観光産業やガイド雇用創出の仕掛けを行います。クライアントの要望に応じ、地域の強みや弱みを踏まえながら、住む人や訪れる人、更に地元の自治体・観光協会・商工会・警察署などのステークホルダーとも調整を図り、現地の魅力と経済効果の向上をお手伝い。

車体と運用ノウハウ  
 コンサルティング支援

街作り ブランディング  
 観光造成支援

# 実証から実装まで、伴走型で支援するワンストップ・ソリューション



- 地域課題に合わせた最適な車体のセレクト（キックボード、電動サイクル等）
- 安全な走行ルートの開発とガイド引率者の育成
- ドローン空撮を含むPR映像制作と、安全を担保する保険の完備

事例：ツアー造成とガイド養成@行田市様

[https://youtu.be/fYi\\_gqAyJq0?si=-pUy-P0NzIqFXm2y](https://youtu.be/fYi_gqAyJq0?si=-pUy-P0NzIqFXm2y)

MASUHIRO555.COM

マスタビ



# 電動モビリティ - ユースケース

## <特徴>

電動モビリティ(16歳以上免許不要)  
折り畳み可能 (鉄道・バス・車・船で運搬)



二次交通  
環境保全

観光ガイドツアー  
オーバー  
ツーリズム

社会貢献  
高齢者  
免許返納

<導入効果> 街作り 観光造成  
交通課題 賑わいと触れ合い  
経済活性化 回遊性向上  
地域PR 利用者によるSNS拡散



MASUHIRO555.COM  
ラクナビ



浜通りでの実績  
楢葉町 ならはみらい様やデジラボ様との取り組み



R 7年の様子を以下リンクから視聴下さい  
浪江町請度小学校→伝承館ツアーも有



インターン生のフィールドワーク  
町内の移動手段を整備

安全に楽しめる様に  
運転講習会やマナー啓発

町内ツアー

広報用の写真・映像制作も含む

浜通りでの実績  
楡葉町 ならはみらい様やデジラボ様との取り組み



R7年の様子を以下リンクから視聴下さい  
浪江町請度小学校→伝承館ツアーも有



インターン生のフィールドワーク  
町内の移動手段を整備

安全に楽しめる様に  
運転講習会やマナー啓発

町内ツアー

広報用の写真・映像制作も含む



R8年度

浪江駅西側地区における  
軽モビリティ導入実証事業

未来志向の交通意識、交通生活様式づくりに向けて

復興庁

浜通り復興リビングラボ  
～サイエンス×官民共創まちづくり～



## 浜通り復興リビングラボ ～サイエンス×官民共創まちづくり～

### 背景・目的

- ・浜通り地域等の復興・再生に向けて、住民の帰還、移住・定住の促進が課題
  - ・福島国際研究教育機構(F-REI)の立地により、研究者・職員等の移住・定住の増加も見込まれる
  - ・住民の帰還や研究者等の移住・定住の促進のため、生活環境の向上が一層求められる
- **生活環境の向上に向けて、民間の技術等を活用し、官民共創型の実証事業を実施**

### 浜通り復興リビングラボ

浜通り地域等15市町村において、生活環境の課題解決に向け、民間の最先端の知見や技術、ノウハウを活用し、企業・市町村が連携して、令和5年度から実証事業を実施

※リビングラボ：生活の場（リビング）を実験場（ラボ）としてイノベーションを実践すること。



### 年間スケジュール

- 4-6月  
参加企業公募開始  
地域課題の提示  
企業向け説明会、現地視察  
公募締切
- 7月-  
企業提案説明会  
組合せの調整（マッチング）  
実証事業開始
- 2-3月  
成果（中間）とりまとめ  
シンポジウム開催

### 取組状況

- ・11市町村・17企業が14の実証事業を実施（令和6年度）
- （ドローンを活用した薬剤配達・獣害対策・山林測量、ドライブレコーダー画像による道路管理、拡張現実（AR）技術を活用した防災教育、DXを活用したイベントの人流分析、行政窓口のユニバーサル対応 等）

### 浜通り復興応援ビジネスネットワーク（チーム浜通り）

- ・復興を応援する企業、大学、研究機関、行政機関等で構成（会員企業45社、パートナー11機関、学術連携パートナー3機関）（R7.4時点）
- ・復興の状況や取組の情報共有、会員間の連携推進を目的

## 浜通り復興リビングラボ 実証事業提案書

様式2

## 未来の街作り 電動モビリティで二次交通と地域創生

 住む  癒す  学ぶ  
 動く  楽しむ  その他

## ①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

- 浜通りの交通課題として、お住いの免許返納者が買い物に行く手段が少ないことや、来訪者についても、鉄道の本数が少ないため駅から駅への移動が容易ではなく、降車後の移動手段（バスやタクシー等）も限定的で周遊するのに不便な状況があります。
- これらの課題を電動モビリティで解決する実証試験を考えております。初年度は運転レクチャーや試乗会を行い、どの様な乗り物かの理解を深めて頂き、最終的には駅や道の駅等のコミュニティ施設で車体のレンタルやシェアリングを想定しています。
- 当社は2輪から4輪まで様々なメーカーを包括的にワンストップでご提供できる点が強みであり、交通弱者向けの4輪（ユニバーサル・デザイン）まで対応します。

## ②提案の概要

## ○電動モビリティ 誰もが楽しめる社会に役立つ未来の創造

- ・実証事業：交通課題の解決 / 電動モビリティを活用して移動手段の有効性を検証。

試乗会やモニターツアーの実施。様々なメーカーの異なるモビリティを活用し、地域の課題に応じた有効性を検証。

2輪：電動キックボードや電動サイクル

3輪・4輪：電動モビリティ 歩道用のシニアカーや車道走行用（速度上限20KMの免許不要車）

- ・新規性：モビリティツアー支援システム（特許庁の実用新案取得）も活用

安全性と人に寄り添うおもてなしを提供します。

①引率ガイド付②インカム無線付ヘルメット（全員の意思疎通）③乗車シーン動画撮影（ドラレコ）

- ・将来は国内外から浜通りへの誘客を、福島県が掲げるホープツーリズム造成で盛り上げたい。

コンセプトPV [https://youtu.be/ggigiXHeyJM?si=1D\\_imp4r1ZivriS3](https://youtu.be/ggigiXHeyJM?si=1D_imp4r1ZivriS3)



特許庁 実用新案登録



## ③事業実施に対し必要な要件

自治体でのテストフィールドの提供 試乗会やモニターツアーの開催  
 新たな試みの告知PRのご協力 参加者を募るチラシやポスターの掲出

## ④想定スケジュール

R7年：当社が車体をレンタル提供。地域の異なる課題やニーズの深掘り  
 住む人の試乗やアンケート。来町者を想定した移動テストも実施。  
 R8年：実証～実装。街作りにも有効なモビリティの実証実験を第一優先。  
 観光コンテンツ造成の要望があれば、国内外の送客ツーリズムまで発展

## ⑤地元企業等とのマッチング希望

 あり  なし

<https://masuhiro555.com/>

会社名：株式会社 マスヒロ

## 令和7年度は9市町村にて12民間企業による10実証事業を実施

### R6年度開始事業

**【相馬市、浪江町×大日本印刷】**  
ドローンによる撮影やデータ分析等を活用した  
獣害対策の支援

**【南相馬市×大日本印刷】**  
服薬サービス事業（ドローンによる調剤配達・遠隔  
地での服薬管理サポート）

**【広野町、浪江町×フェイス】**  
カーボクレジットを活用した脱炭素型・  
高収益稲作体系の検証と普及

**【いわき市、川内村、浪江町×Agnavi】**  
日本酒一合缶による地域産品の発信

**【いわき市×NTTデータ経営研究所】**  
自治体職員のみちづくりマネジメント力向上のための  
研修プログラム開発

**【いわき市×首都高速道路、首都高技術、  
セーファー】**  
道路パトロールシステムを活用したインフラ管理支援



### R7年度開始事業

**【いわき市、川俣町、浪江町×マスヒロ】**  
電動モビリティの二次交通としての有効性検証

**【いわき市×ローテックメディカルジャパン】**  
ポータブルエコーとエクササイズを組み合わせた  
フレイル予防プログラムの開発

**【いわき市、檜葉町、川内村、大熊町、  
浪江町×コドモエナジー】**  
電源を必要としない蓄光プレートを使った  
獣害対策の支援

**【浪江町×フジタ、ふたば】**  
ドローン・画像解析技術を活用した高線量下での  
森林・林道管理の効率化

**区域**  
■ 特定復興再生拠点区域(解除済み)  
 帰還困難区域  
 避難指示解除区域

     令和7年度実証事業実施市町村  
 過年度実証事業実施市町村

# 浜通り復興リビングラボ【令和7年度 マッチング結果】（R7.9.30時点）

社名	実証事業名	実施自治体
1 株式会社マスヒロ	<p><b>未来の街作り 電動モビリティで二次交通と地域創生</b></p> <p>免許返納者等の日常生活に必要な公共交通や来訪者が周遊するための移動手段が不足している状況に対し、電動モビリティ（16歳以上であれば免許が不要な電動キックボードやシニアカー等）を用いることで解決を図る。実証事業においては試乗会やモニターツアーを実施し、電動モビリティへの理解を深めると共に、地域の課題に応じて2輪、3輪・4輪等、多様なモビリティでの有効性を検証する。</p>	<p>いわき市 川俣町 浪江町</p>
2 ローテックメディカルジャパン株式会社	<p><b>ポータブルエコーとエクササイズを組み合わせたフレイル予防プログラムの開発</b></p> <p>ポータブルエコーを使用し歩行に関する足の筋肉の状態を見える化するとともに、現地トレーナーと連携し老化した筋肉を改善するエクササイズを提供する。継続的に筋肉の変化が視覚化されることで、自ら運動をしてみたいと思わせ、歩行機能の維持に直接的に貢献するとともに、外に出て周囲の人と会話する機会を提供することにより、お達者度の改善や認知症予防につながる等、間接的な生きがい創出にも貢献する。</p>	<p>いわき市</p>
3 コドモエナジー株式会社	<p><b>蓄光プレートを使った獣害対策 光で守る、畑と暮らし。電源不要の新ソリューション</b></p> <p>高輝度蓄光素材『ルナウェア』を既存の進入防止柵等に取り付けることで、野生鳥獣の進入防止対策を行う。『ルナウェア』は無電力で発光するため、電源の確保や配線工事が不要、設置場所を選ばない等の利点があり、農業従事者の負担が少ない獣害対策としての活用が期待できる。</p>	<p>いわき市 楢葉町 川内村 大熊町 浪江町</p>
4 株式会社フジタ株式会社ふたば	<p><b>ドローン・画像解析技術を活用した高線量下での森林管理の効率化</b></p> <p>地元企業(株)ふたばのUAV活用技術とフジタのドローン緑地管理手法を用いて、高放射線量下における山林内（帰還困難区域を想定）において、ドローン及び画像解析技術を活用して放射線量計測、資源量調査、アクセス路となる林道の損傷状況の確認を行い、今後の森林管理に資する現状把握と管理の安全・効率化を図る。</p>	<p>浪江町</p>

# 【いわき市× (株) マスヒロ】

## 電動モビリティの二次交通としての有効性検証

(令和7、8年度実施)

### 【目的】

- 市内拠点エリアや観光スポットへの周遊手段の整備等を目指し、電動モビリティのエリア内周遊に関する可能性を調査する。**(モビリティは、電動キックボード・漕がずに進む電動サイクル等、異なる複数のタイプを用いる。)**

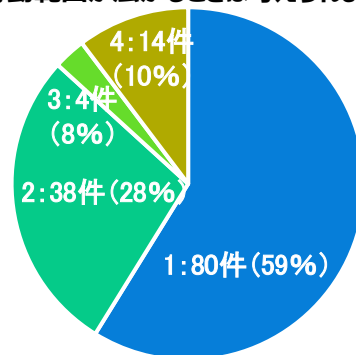
### 【令和7年度実施内容】

- いわき大物産展（10/18-19）にて体験試乗会を実施。来場者の電動モビリティへの理解を深めるとともに、利用可能性に関するアンケート調査を行った。
- また、市職員と共に観光スポットの三崎公園まで観光ルート**を電動モビリティを用いてで試走。勾配の厳しい道路での利用可能性について確認**



いわき大物産展試乗会の様子  
(いわき市)

電動モビリティを利用することにより、自動車や徒歩に比べて、あなたの行動範囲が広がることは考えられますか？



- 1: 十分考えられる ● 2: どちらともいえない
- 3: 考えられない ● 4: 未回答

試乗会で実施したアンケート調査結果例  
(アンケート集計数136件)



市職員による三崎公園までの  
急こう配の登り坂など試走 (いわき市)

【実証試験】

浪江国際研究学園都市構想 F-REIの立地を踏まえた街作り  
浪江駅西側地区における軽モビリティ導入

浜通り復興リビングラボ  
～サイエンス×官民共創まちづくり～

復興庁

未来のスマートシティ  
多様なモビリティで様々な移動を ラクに 楽しく 安全に



# 浪江町のモビリティに関する上位計画の位置づけ

【浪江国際研究学園都市構想】	【浪江駅西側地区整備計画】
<p>≪方向性②≫ 地域と多様な主体の共生を促進する都市整備</p> <p>②-4 浜通り地域・浪江町内外アクセスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• JR常磐線浪江駅と国道6号、県道広野小高線（浜街道）、常磐自動車道（浪江IC、常磐双葉IC）とのネットワーク強化</li><li>• F-REIへのアクセス向上のための周辺道路整備</li><li>• <u>町内交通の確保と様々なモビリティ導入の検討</u></li></ul>	<p>4.2 個別方針</p> <p>4.2.4 交通基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <u>浪江駅西側地区の交通基盤は、域外から訪れる研究者、事業者、観光客等が快適に移動できる多様なモビリティを誘導することで、まち全体をつなぐ機能の強化を図ります。</u></li><li>• 浪江駅やエフレイ施設を中心に、スモールモビリティのポート、EV充電ステーションなどの配置が可能な敷地として、必要に応じて<u>ユーティリティ用地</u>を確保します。</li><li>• 中心市街地や高速道路ICへのアクセス道路の整備や道路改良を促進し、広域的なアクセス向上と町内各施設との連携を強化します。</li></ul> <p>5.2 導入機能</p> <p>○交通基盤の整備に関する機能</p> <p>➤ 導入機能例</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• モビリティポート・スポット</li><li>• <u>次世代モビリティに関するインフラ、実証機能</u></li><li>• 広域アクセス道路</li></ul>

# 浪江国際研究学園都市構想 (F-REI立地を踏まえた街作り 駅からF-REIの通勤等)

## 多様なモビリティで様々なニーズと課題をキャッチアップ 差別化と付加価値で周遊の利便性と地域の魅力を向上



「浪江駅」→F-REI→「浪江駅」  
ゼロカーボンのモビリティで未来のスマートシティを創出



浪江町 関係者各位

## 浪江駅西側地区における軽モビリティ導入実証事業 未来志向の交通意識、交通生活様式づくりに向けて

浪江町西側で新しい「まちの足」を試してみませんか？

鉄道×モビリティで「ちょっとそこまで」をもっと便利に！  
軽モビリティによる通勤体験等を通じて、浪江駅西側地区におけるモビリティの検討や未来志向の交通意識形成に関する実証を行います。



未来のスマートシティ  
多様なモビリティで様々な移動をラクに楽しく安全に



浜通り復興リビングラボ  
～サイエンス×官民共創まちづくり～

復興庁



浪江駅～浪江駅西側地区で様々な軽モビリティを試行運航（R8年度に体験実証を予定）

静かでエコ、誰でも使いやすい次世代の移動手段  
F-REI職員、町内事業者、地域住民の方々への参加を募集中！  
ご協力頂ける方は、市街地整備課までご連絡下さい。

TEL : XXXXXX XXXX ○○○○○○ メール ………

## 電動キックボード 乗車 同意書

電動キックボードを利用するにあたり以下の「禁止事項」、「義務」、「注意事項」をご確認  
いただき □ にチェックを入れ、署名をお願いいたします。

\*本同意書とは別に「キックボード 乗車管理表にて管理させていただきます」

### <禁止事項>

- 1.車や原付と同様に飲酒運転は厳禁です。
- 2.歩道での走行や2人乗りは厳禁です。
- 3.ヘッドホンの着用やスマホを操作しながらの片手運転は厳禁です。
- 4.大きなバックなどバランスを崩す荷物を持つての運転は禁止します。小型リュック推奨
- 5.車両の侵入や走行が禁止されている公園での侵入・走行は厳禁。
- 6.道路交通法の確認とルール遵守をお願い致します。QRコードから確認



### <義務>

- 1.運転時にはヘルメットの着用を義務とします。
- 2.信号機のある交差点は全て2段階右折をしてください。
- 3.走行は道路の左側を必ず通行してください。(逆走は禁止)
- 4.貸出時間：当日のツアー工程スケジュールに準じる
- 5.事故の際は必ず連絡をして下さい ①主催者 ②110番 ③救急車

### <注意事項>

- 1.車体は自賠責保険と任意保険に加入しておりますが、その保険で対応できる範囲（以下表）以上の侵害は一切の責任を負えません。最終的に自己責任のもとご乗車頂く事でご了承下さい。
- 2.車体が倒れた場合、ウィンカーが壊れる可能性があります。破損した場合、実費で¥9,000（税別）を請求いたします。全損の場合は新車価格20万相当（税別）をご請求させていただきます。
- 3.雨天時浜辺など砂地では走行出来ません。急な坂道はスピードが大きく加速/減速します。
- 4.車体の盗難、紛失は新車販売価格同等をご請求致します。駐停車時はワイヤーロックで施錠をお願い致します。
- 5.肖像権放棄：期間中に撮影した写真・動画を市報やPRでの使用をご了承下さい。

保険種類		自動車保険・一般用 一般自動車総合保険
相手 への お ケ ガ の 補 償	人身傷害 特約	ご契約のお車搭乗中のみ補償 5000万円 (無保険車傷害 2億円)
	対人賠償 特約	無制限 無制限 / 免責なし 対物賠償修理費用
運転 使 用 年 令 条 件 的	対象外 年齢を問わず補償	

上記の「禁止事項」、「義務」、「注意事項」を確認の上、同意します。  
年 月 日 氏名： \_\_\_\_\_ 年齢は16歳以上

\* 公的身分証明にて年齢確認を実施させていただきます（免許・学生証・パスポート）

\* 16歳以上免許不要の車両で走行（16歳未満の公道走行はできません）



YouTube  
乗り方の動画

多言語別無  
参考用  
当日レクチャー  
乗れない方はお断りす  
る事でご了承下さい



警視庁サイト  
法規制/罰則  
必ずご確認ください。

多言語別に有

# JR様へのご協力をお願い

- 実施期間における車体の保管場所の活用
- 構内にある清掃用具の保管場所
- 用途 ①朝の貸出と夕方の返却における受付場所（実施事業者で施錠）  
②夜間における保管及び充電（充電は自販機から延長コードで確保）



電源は自販機コンセントから延長コードを椅子の裏に隠してテープ留め（昼間は延長コードは外す）




最大で5台以内を想定  
(100V 500W)  
4輪リリース時期は未確定  
= 別途で応相談



# 浪江町 電動モビリティが繋ぐ研究と地域の未来

## F-REI立地を踏まえた街作り

### 移動課題の解決と交流創出

 **2輪 ~4輪**多様なモビリティで様々な移動を便利に  
(キックボード)



**多様な電動モビリティの導入:**  
ランチタイムの回遊や業務移動など用途に合わせ提供。

導入前  
(徒歩・踏線バス)



導入範囲:  
移動範囲が限定的

E-モビリティ導入後



町内回遊率向上:  
全議員が手軽に移動可能

### 4段階の実装ロードマップ

浪江駅を起点  
に実証試験

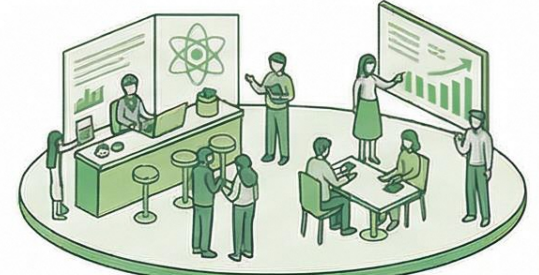
F-REI起点に  
実証試験

町民を対象  
に試乗体験の  
イベント

地域の足への  
発展を検討  
住人・来訪者



### F-REI研究の理解促進と地域振興の取組



体感型の研究理解促進活動



地域資源との共創・販わい作り

ランチタイム 駅前や道の駅まで移動

F-REI

道の駅

駅前



**脱炭素移動100%の実現:**  
走行時CO<sub>2</sub>排出ゼロのクリーンな交通網により、  
浪江町のゼロカーボンシティ構想に貢献。

共通

# 浪江駅西側地区共創会議 コミュニティ部会（第2回） 個別事業ワーキンググループ結果概要

日時  
場所  
参加者  
グループ

2025.11.05（水）15時35分-16時42分 ※コミュニティ部会第2部  
浪江町防災交流センター会議室  
共創会議会員44名（町民、事業者等）  
第1回の発表者、第2回のアイデアピッチ新規発表者を仮リーダーとする5テーマ

# d.モビリティWG

※WG名は仮称

発表資料  
(二次元コード読み取り)



## 第1部 事業アイデアピッチ概要

### ■株式会社マスヒロ 代表 増子博之 氏

- ・キックボードが普及する都内では若者が便利になった一方で、キックボードに乗れない高齢者にとっては不便なまま。
- ・真の意味でスマートなまちづくりには、その地域に住む人、訪れる人の子どもからお年寄りまで、それぞれのニーズを満たすモビリティが必要。そのために当社では様々なメーカーの代理店となり、自転車型や4輪タイプなど多種類のモビリティを地域の課題に合わせて提供できるようにした。
- ・無線を搭載したインカム付きヘルメットを活用し、360°動画撮影が可能な、安心安全な体験型モビリティツアーの仕組みで実用新案の取得と楽旅（ラクタビ）で商標登録。全国ではオーバーツーリズム対策として拡大中。福島県もホープツーリズム観光のコンテンツとして活用したい。
- ・檜葉町の事業で、大学生の夏休みのインターン受入の際の移動手段として電動モビリティを貸し出し中。
- ・浪江町では交通モビリティで誰もが便利で魅力的なまちづくりに貢献したい。共創会議でパートナーとして事業主体となっただけの方や観光、交通事業者の方などつながりたい。



参加者	立場	プロジェクトに対する発言
株式会社マスヒロ (増子氏)	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティ提供事業者に声をかけながら、キックボード・2輪・3輪・4輪を包括した代理店と、交通や観光の総合プラットフォーム事業（コンサルティング及びプロデュース）を行っている。未来に向けた街作りや観光造成で貢献出来れば幸いです。</li> <li>浪江町は各スポットが点になっており、それぞれを結ぶ交通手段がない課題がある。1種類のモビリティを提供するだけでなく複数種類のモビリティを提供しなければ幅広いニーズ（若者・高齢者、地元住民・観光客等）に応えることはできない。</li> <li>電動キックボード利用についていわき市でアンケートを取ったところ、若い世代よりもむしろ中高年層での利用率が高く、車にキックボードを乗せて移動先で利用する事例もあったため、幅広いターゲットが検討し得る。漕がずに進む電動サイクルタイプも好評。</li> <li>ラストワンマイルの移動を改善する解決策として、免許を返納した人でも乗れる電動4輪モビリティ（車いす仕様以外の屋根付き乗用車タイプ）の活用も選択肢に挙げられる。広い駐車スペースが不要なほか、1台50万円程度であれば費用も抑えられる。車体に広告を貼ることで地域資源の情報発信に活用することもできる。</li> </ul>
株式会社渡辺商店 (渡邊氏)	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリンスタンドを営んでおり、地域の交流拠点となることをテーマに事業を行っている。浪江町ではラストワンマイルの交通手段がない点が課題だと感じており、特に高齢者をターゲットに移動を補助できるモビリティを提供していきたい。</li> <li>浪江町は各スポットが線で繋がっておらず、プロモーション等ソフト面の施策も活用しながら町を点ではなく線でつなげる必要性を感じる。また一つのモビリティに頼るのではなく、バス・電動キックボード・電動車いす等複数のモビリティを組み合わせることも一案である。</li> <li>電動キックボードのような新たなモビリティに多くの機能を付けすぎると、車との差別化が難しくなるため留意が必要である。</li> </ul>
株式会社伊達重機 (前司氏)	⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>水素ステーション事業を行っており、その赤字を補填するためレンタカー事業を行っている。また電動キックボードのレンタルも行っているが利用が少なく情報発信に課題感あり。役場の実証実験では広く広報できるものの、事業開始後一民間企業が駅等にチラシを置くことは難しい。</li> <li>電動キックボードを借りている方の多くは観光目的であり地域住民の方の利用は少なく、特に冬場は寒いため利用が少なくなる。スーツケースを持った観光客・ビジネス客の宿泊施設までの歩行移動距離が長い点にはニーズを感じる。</li> <li>電動キックボードは体への負担上、短距離には向くが、長距離は向かないという特徴があり、移動距離やカゴの有無等によって複数種類の電動キックボードを展開する必要性を感じる。</li> <li>レンタカー需要はあるものの、多くの場合いわき駅や郡山駅など浪江駅より手前の駅で借りてしまうため、浪江駅周辺でレンタカー事業を展開する難しさを感じる。鉄道利用後の交通手段がないことがその利用客数を下げている一因とも考えられるため、JRとの提携を持ち掛けることも一案である。</li> <li>シェアカーサービスも実施したが、乗り捨てができないこと、長時間利用ではないことがネックとなって利用が少なく、撤退をしまった。</li> <li>浪江町内では年配の方は駅前よりも郊外に住んでおり、スマートモビリティのような乗り合いタクシーでは移動できる範囲も含まれるため、電動車いすのニーズはあるように感じる。</li> </ul>

参加者	立場	プロジェクトに対する発言
株式会社 H.T.Coast (谷口氏)	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京で公認会計士として勤務後、1月より浪江に移住、会社を立ち上げ。会計面での課題があればモビリティ領域でも協力したい。</li> <li>移住の際に株式会社伊達重機のレンタカーを利用したが、本サービスは町の補助金制度を通して知ることができた。より幅広い人への認知を進めるにはwebサイトでの予約を可能にする必要性を感じる。</li> </ul>
株式会社いの ちとぶんか社 (榎内氏)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>富岡町出身であり、双葉郡の移住定住の支援を行う中で移動手段への課題を感じている。</li> </ul>
Zip Infrastructure 株式会社 (河邊氏)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>南相馬市で都市型自走式ロープウェイの開発を行っており、モビリティ開発において提供できる知見がある。</li> </ul>
東京海上日動 火災保険株式 会社 (三浦氏)	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年F-REIと連携協力の合意を行っており、保険以外の領域も含め地域活性化に協力していきたい。自動運転のアセスメントを取得しているため、自動運転における提携が可能である。</li> <li>中距離移動の利便性を高めるためには、自動運転バスを運行することも一案である。浪江町内で周回コースを作れば需給バランスを調査しながら事業を行うことができる。</li> </ul>
東邦銀行 (加藤氏)	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人コンサルティング部で相双エリアの復興に関わっており、モビリティ領域を含め法人の課題解決に協力していきたい。</li> </ul>
ネットヨタ福 島株式会社 (柿坪氏)	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>なみえ創成小中学校において水素教育への協力を行っており、浪江町内に販売店もあるためモビリティ領域での協力をしていきたい。</li> <li>現在はモビリティへの需要が少なくても、今後浪江駅前の整備が進めば需要は増えるだろう。</li> </ul>
三井住友海上 火災保険株式 会社 (橘氏)	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>浜通り地域での営業を担当しており、電動キックボードの危険性も感じている中で、安全面でのコンサルティングで協力することができる。</li> <li>浪江町内の電動キックボードがどこに設置されているのか情報源がわからず、毎回スマートモビリティを呼んでしまっている。</li> </ul>
パナソニック株 式会社エレクト リックワークス社 (松井氏)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明器具を中心とした電源資材を扱っている。グループ会社にパナソニックサイクルテック株式会社があり、ママチャリ型の小型原付を発売しているほか、同じくグループ会社のパナソニックホームズ社ではまちづくりに関わっており、浪江町でのまちづくり及びモビリティ領域で協力が可能である。</li> </ul>

## d. モビリティWG 対話概要（1 / 2）

■参加者 （株）マスヒロ 増子様、他10名（町内事業者5団体、町外事業者5団体）

参加者	WGテーマに対する発言概要
株式会社マスヒロ （増子氏）	<ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティ提供事業者に声をかけながら、キックボード・2輪・3輪・4輪を包括した代理店と、交通や観光の総合プラットフォーム事業（コンサルティング及びプロデュース）を行っている。</li> <li>電動キックボード利用についていわき市でアンケートを取ったところ、若い世代よりもむしろ中高年層での利用率が高く、車にキックボードを乗せて移動先で利用する事例もあったため、幅広いターゲットが検討し得る。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京で公認会計士として勤務後、1月より浪江に移住、会社を立ち上げ。会計面での課題があればモビリティ領域でも協力したい。</li> <li>富岡町出身であり、双葉郡の移住定住の支援を行う中で移動手段への課題を感じている。</li> <li>南相馬市で都市型自走式ロープウェイの開発を行っており、モビリティ開発において提供できる知見がある。</li> <li>今年F-REIと連携協力の合意を行っており、保険以外の領域も含め地域活性化に協力していきたい。自動運転のアセスメントを取得しているため、自動運転における提携が可能である。</li> <li>法人コンサルティングで相双エリアの復興に関わっており、モビリティ領域を含め法人の課題解決に協力していきたい。</li> <li>なみえ創成小中学校において水素教育への協力を行っており、浪江町内に販売店もあるためモビリティ領域での協力をしていきたい。</li> <li>浜通り地域での営業を担当しており、電動キックボードの危険性も感じている中で、安全面でのコンサルティングで協力することができる。</li> <li>照明器具を中心とした電源資材を扱っている。グループ会社でママチャリ型の小型原付を発売しているほか、他にまちづくりに関わっているグループ会社もあり、浪江町でのまちづくり及びモビリティ領域で協力が可能である。</li> <li>ガソリンスタンドを営んでおり、地域の交流拠点となることをテーマに事業を行っている。</li> <li>浪江町は各スポットが線で繋がっておらず、プロモーション等ソフト面の施策も活用しながら町を点ではなく線でつなげる必要性を感じる。また一つのモビリティに頼るのではなく、バス・電動キックボード・電動車いす等複数のモビリティを組み合わせることも一案である。</li> </ul>
株式会社マスヒロ （増子氏）	<ul style="list-style-type: none"> <li>浪江町は各スポットが点になっており、それぞれを結ぶ交通手段がない課題がある。1種類のモビリティを提供するだけでなく複数種類のモビリティを提供しなければ幅広いニーズ（若者・高齢者、地元住民・観光客等）に応えることはできない。</li> </ul>

## d. モビリティWG 対話概要（2 / 2）

B. 会員共有用

■ 参加者 (株)マスヒロ 増子様、他10名（町内事業者5団体、町外事業者5団体）

参加者	WGテーマに対する発言概要
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>浪江町ではラストワンマイルの交通手段がない点が課題だと感じており、特に高齢者をターゲットに移動を補助できるモビリティを提供していきたい。</li> </ul>
株式会社マスヒロ（増子氏）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラストワンマイルの移動を改善する解決策として、免許を返納した人でも乗れる電動4輪モビリティ（車いす仕様以外の屋根付き乗用車タイプ）の活用も選択肢に挙げられる。広い駐車スペースが不要なほか、1台50万円程度であれば費用も抑えられる。車体に広告を貼ることで地域資源の情報発信に活用することもできる。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>浪江町内では年配の方は駅前よりも郊外に住んでおり、スマートモビリティのような乗り合いタクシーでは移動できる範囲も含まれるため、電動車いすのニーズはあるように感じる。</li> <li>水素ステーション事業を行っており、その赤字を補填するためレンタカー事業を行っている。また電動キックボードのレンタルも行っているが利用が少なく情報発信に課題感あり。役場の実証実験では広く広報できるものの、事業開始後一民間企業が駅等にチラシを置くことは難しい。</li> <li>シェアカーサービスも実施したが、乗り捨てができないこと、長時間利用ではないことがネックとなって利用が少なく、撤退をしてしまった。</li> <li>浪江町内の電動キックボードがどこに設置されているのか情報源がわからず、毎回スマートモビリティを呼んでしまっている。</li> <li>移住の際に町内のレンタカーを利用したが、本サービスは町の補助金制度を通して知ることができた。より幅広い人への認知を進めるにはwebサイトでの予約を可能にする必要性を感じる。</li> <li>電動キックボードのような新たなモビリティに多くの機能を付けすぎると、車との差別化が難しくなるため留意が必要である。</li> <li>電動キックボードを借りている方の多くは観光目的であり地域住民の方の利用は少なく、特に冬場は寒いため利用が少なくなる。スーツケースを持った観光客・ビジネス客の宿泊施設までの歩行移動距離が長い点にはニーズを感じる。</li> <li>電動キックボードは体への負担上、短距離には向くが、長距離は向かないという特徴があり、移動距離やカゴの有無等によって複数種類の電動キックボードを展開する必要性を感じる。</li> <li>レンタカー需要はあるものの、多くの場合いわき駅や郡山駅など浪江駅より手前の駅で借りてしまうため、浪江駅周辺でレンタカー事業を展開する難しさを感じる。鉄道利用後の交通手段がないことがその利用客数を下げている一因とも考えられるため、JRとの提携を持ち掛けることも一案である。</li> <li>中距離移動の利便性を高めるためには、自動運転バスを運行することも一案である。浪江町内で周回コースを作れば需給バランスを調査しながら事業を行うことができる。</li> <li>現在はモビリティへの需要が少なくても、今後浪江駅前の整備が進めば需要は増えるだろう。</li> </ul>

## d. モビリティWG 対話概要

- 参加者 (株)マスヒロ 増子様、他10名（町内事業者5団体、町外事業者5団体）

参加者	WGテーマに対する発言概要
株式会社マスヒロ (増子氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティ提供事業者に声をかけながら、キックボード・2輪・3輪・4輪を包括した代理店と、交通や観光の総合プラットフォーム事業（コンサルティング及びプロデュース）を行っている。</li> <li>浪江町は各スポットが点になっており、それぞれを結ぶ交通手段がない課題がある。1種類のモビリティを提供するだけでなく複数種類のモビリティを提供しなければ幅広いニーズ（若者・高齢者、地元住民・観光客等）に応えることはできない。</li> <li>電動キックボード利用についていわき市でアンケートを取ったところ、若い世代よりもむしろ中高年層での利用率が高く、車にキックボードを乗せて移動先で利用する事例もあったため、幅広いターゲットが検討し得る。</li> <li>ラストワンマイルの移動を改善する解決策として、免許を返納した人でも乗れる電動4輪モビリティ（車いす仕様以外の屋根付き乗用車タイプ）の活用も選択肢に挙げられる。広い駐車スペースが不要なほか、1台50万円程度であれば費用も抑えられる。車体に広告を貼ることで地域資源の情報発信に活用することもできる。</li> </ul>
参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●意見、情報提供等 <ul style="list-style-type: none"> <li>Web予約導入による認知拡大の必要性</li> <li>双葉郡の移住定住支援を通じた移動手段の課題認識</li> <li>南相馬市での都市型自走式ロープウェイ開発に基づくモビリティ知見</li> <li>自動運転のリスクアセスメントに関する提携可能性</li> <li>電動キックボードの危険性を踏まえた安全面コンサルティングの提供</li> <li>町内は各スポットを点ではなく線でつなげる必要性</li> <li>バス・電動キックボード・電動車いす等複数のモビリティを組み合わせによる最適化</li> <li>ラストワンマイルの交通課題と、高齢者を対象とした移動補助モビリティ提供の必要性</li> <li>レンタカー、電動キックボードのレンタル事業を展開中。情報発信の課題認識。</li> <li>電動キックボードを利用者の多くは観光目的。冬場は利用減。宿泊施設までの移動への潜在需要。</li> <li>駅前整備進展による将来的なモビリティ需要増加の見通し</li> </ul> </li> <li>●提案 <ul style="list-style-type: none"> <li>中距離移動の利便性向上に向けた自動運転バス導入と周回コース設定による需給調査</li> </ul> </li> </ul>

# 第三回 2026年3月開催

(株) 渡辺商店 渡辺氏 川村氏

電動車椅子をはじめとするパーソナルモビリティのシェアリングを主軸に、浪江駅西側地区を中心としたラストワンマイルの交通課題解決に繋がる事業モデルを検討します。

地域外から訪れる研究者・事業者・観光客をはじめ、住民や高齢者など多様な移動ニーズに対応し、誰もが使いやすい移動環境の実現を目指します。

観光、福祉、日常利用といった分野を横断しながら、エリアマネジメントや関係事業者との連携を視野に入れ、サービスモデルの共創・実証を通じて、浪江町にフィットするモビリティの仕組みを模索します。

＜特に参加を希望する事業関係者＞

- ・パーソナルモビリティ（電動車椅子等）メーカー
- ・販売&レンタル事業者
- ・モビリティシェアリング、Maas、交通サービス事業者
- ・観光事業者、旅行事業者、エリアマネジメント関係者
- ・地域拠点施設（駅・公共施設・商業施設・宿泊施設）
- ・高齢者支援、福祉、介護、医療関係者
- ・交通DX、サービス設計、データ活用、アプリ開発等のITテック事業者
- ・決済、ポイントサービス等の金融・IT事業者

# 第二回 2026年11月開催

(株) 渡辺商店 渡辺氏 川村氏

C	継続	スポーツを活用したまちづくりWG	<p>浪江駅西側地区にて、交流施設（一部FUKUSHIMA WWW.クラブハウス）×オンライン併設医療モール（仮）を拠点とした、Well-Beingなまちづくりとダイバーシティ&amp;インクルージョンへの取組について検討します。駅西側地区はF-REIの建設により性別、年齢、国籍、価値観などの多様な個性が集う地区となります。様々な人が共助互助の関係性を構築し、個々の個性や能力が活かされる場づくりを通して地域住民と共に暮らしやすいエリアとする為のアイデアをみんなで気軽にディスカッションします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ、スポーツまちづくり</li> <li>・健康関係、福祉/介護関係者</li> <li>・地域コミュニティ連携</li> <li>・医療関係者</li> <li>・上記設計・建築・施工関係者</li> <li>・地域拠点関係者</li> <li>・ダイバーシティ</li> <li>・海外交流</li> <li>・F-REIとの連携</li> </ul>	READY SOCIAL株式会社 代表 佐藤夏美 氏	
D	継続	モビリティWG	<p>電動車椅子をはじめとするパーソナルモビリティのシェアリングを軸に、浪江駅西側地区を中心としたラストワンマイルの交通課題解決につながる事業モデルを検討します。</p> <p>地域外から訪れる研究者・事業者・観光客をはじめ、住民や高齢者など多様な移動ニーズに対応し、誰もが使いやすい移動環境の実現を目指します。</p> <p>観光、福祉、日常利用といった分野を横断しながら、エリアマネジメントや関係事業者との連携を視野に入れ、サービスモデルの共創・実証を通じて、浪江町にフィットするモビリティの仕組みを模索します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーソナルモビリティ（電動車椅子等）メーカー、販売・レンタル事業者</li> <li>・モビリティシェアリング、MaaS、交通サービス事業者</li> <li>・観光事業者、旅行事業者、エリアマネジメント関係者</li> <li>・地域拠点施設（駅、公共施設、商業施設、宿泊施設等）関係者</li> <li>・高齢者支援、福祉・介護、医療関係者</li> <li>・物流・施設内搬送、ラストワンマイル配送関係者</li> <li>・交通DX、サービス設計、データ活用、アプリ開発等のIT・テック事業者</li> <li>・決済、ポイントサービス等の金融・IT事業者</li> </ul>	株式会社渡辺商店 渡邊魁杜 氏 川村航大 氏	○
			ノーマ・ホースヴィレッジが培ってきたホースセラピー、ホースマンシップ等			

# パーソナルモビリティを活用した地域回遊ネットワーク

～「歩きたくなるまち」をつくる、次世代モビリティシェア構想～



MIRAI STAND

ウォーカブルな街に、まちとの距離を近づけるモビリティを

# プロフィール



## 渡邊 魁杜

1998/9 福島県浪江町生まれ  
実家が浪江町でガソリンスタンド渡辺商店を経営  
芝浦工業大学大学院 建築学専攻 卒業  
株式会社リクルート 在籍



## 川村 航大(一級建築士/宅地建物取引士)

1998/1 愛知県名古屋市生まれ  
名城大学 理工学部 建築学科卒業  
東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 建築学域修了  
株式会社青木茂建築工房 在籍

# パーソナルモビリティレンタル事業のご提案

移動の課題を解決し、新たなコミュニティのつながりを創出する

## 事業の核：レンタルサービスの展開



出典：WHILL株式会社HP

スタイリッシュな電動車椅子「WHILL」などを活用し、誰もが気軽に使える**レンタルサービス**を町内に展開します

## インフラとの連携



出典：国土地理院  
浪江駅周辺整備計画部分出典：浪江駅周辺整備事業の平面図（令和5年2月3日区域変更）を加工

町の都市計画と連携し、パーソナルモビリティが安全かつ快適に走行できる**インフラ整備**を推進します

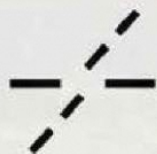
## 背景と「まち」の課題：なぜ今、シェアモビリティなのか

魅力的なスポットは点在しているが、それらをつなぐ「足」が不足している。



### 「点」で終わる観光

駅や道の駅には人が集まるが、町中の個店への回遊が生まれていない。



### ラストワンマイルの断絶

バス停から目的地までの「あと少し」が、高齢者や徒歩観光客には大きな障壁。



### 機会損失

「行きたいけれど、歩くのが大変だから諦める」という消費の取りこぼし。



福島県内の年間免許返納者数 **約10,000人** (移動の足の喪失が深刻化)



今後増加が予測される高齢者や歩行困難者のラストワンマイルの移動をサポートすることで  
誰もが暮らしやすいまちづくりを支えます





# 運営スキーム：地域コミュニティの核となるガソリンスタンドの強み



## メンテナンス・充電

ガソリンスタンドの整備士・設備をフル活用し、毎日の安全を担保。



## 機体配送・回収

自社トラックによるポート間の車両再配置（リバランス）が可能。



## 地域ネットワーク

既存の地域コミュニティ機能を活かし、有人でのサポートを提供。

ITベンチャーにはない『現場力』で、持続可能な運営を実現します。

# 利用シーンのイメージ



## 観光・周遊

駅から道の駅、そして請戸小へ。  
風を感じる新しい観光体験。



## 日常の足

免許返納後のラストワンマイル。  
買い物や通院を快適に。



## イベント回遊

広い会場も疲れ知らず。  
三世代で楽しむイベント参加。

# 私たちが用意するのは「キャンバス」です

共創パートナーシップの全体像



この「動く額縁」に、御社の技術やコンテンツという「絵の具」を提供してください。

# 令和7年度第6回浪江町地域公共交通会議の参加

開催日時：令和8年3月3日（火）13：00～14：30

開催場所：浪江町役場本庁舎2階庁議室

報告事項・議題：【議案】浪江町地域公共交通計画（最終案）  
について

**事業紹介と実証実験の共有**

（株）マスヒロ 増子



R8年5月実証実験の様子  
浪江駅からF-REI





11月以降にテスト予定





# 構想 (案) イメージ

実際の3.11伝承ロードとの連携は整っていません

誘客へ寄与 関係人口の増加  
大手旅行会社とコラボにて  
福島県様の掲げる  
ホープツーリズムを発展させ  
浜通りを盛り上げたい



教訓が、  
いのちを救う。



AOMORI  
IWATE  
MIYAGI  
FUKUSHIMA  
SENDAI



# 3.11伝承ロード

3.11 DENSHO ROAD



# 次世代ホープツーリズム

東日本大震災 復興支援エリア

復興庁



# 【過去の事例から学び 平和を願う旅】

ハイブリット：大きな移動はバス 立ち寄る場所は電動キックボード

- ①安全：引率ガイド付
- ②安心：インカム無線付ヘルメット
- ③思い出：乗車シーン動画贈呈 高校生～インバウンドまで対応

# 【地域魅力向上により誘客へ寄与 - 関係人口の増加】 大手旅行会社とコラボにて福島県様の掲げるホープツーリズムを発展 福島県と浜通り全体を盛り上げたい

## 福島県 ホープツーリズム 総合ガイドブック

Fukushima Hope Tourism



## 多彩な発見と出会いの フィールド『ふくしま』

北海道・岩手県に次ぐ全国第3位の面積を持つ福島県。  
その広大な県域は、地形・気候・交通・歴史などの面から、太平洋と阿武隈高地に挟まれた「浜通り」、阿武隈高地と奥羽山脈に挟まれた「中通り」、奥羽山脈と越後山脈に挟まれた「会津」の3地域に分けられ、それぞれの魅力を活かして発展してきました。  
津波と原子力災害の影響を受けた浜通りを中心に、県内各地の多彩な観光・学習コンテンツを組み合わせたプログラムの実現が可能です。



ラクに 楽しく 安全に - 引率者付 無線付ヘルメット・走行中の動画撮影 -

実用新案 取得  
MASUHIRO555.COM  
3Qナビ  
HTT  
Tokyo Tokyo  
Clear Sky  
HTT取組推進宣言企業

弊社の付加価値  
【特】(個人)1台車 (10台)1台車(1台) 自動車のシェアリングサービス  
【特】(個人)1台車 (10台)1台車(1台) 自動車のシェアリングサービス  
【特】(個人)1台車 (10台)1台車(1台) 自動車のシェアリングサービス

電動モビリティで課題解決

世界で唯一、  
複合災害を経験した  
福島でしか得られない  
新しい学びのスタイル

浪江 請戸漁港



請戸小学校



福島第一原発



東日本大震災 伝承館





# 連携企業・団体様 一例



浜通り復興リビングラボ  
～サイエンス×官民共創まちづくり～  
**復興庁**



多摩観光推進協議会



KIRANAH RESORT  
**MARUHAN**



Curio Inc.



MTM jAPAN

地方独立行政法人  
東京都立産業技術研究センター



Limot



# 浪江駅西側地区共創会議 モビリティワーキンググループ

ご参画頂ける事業者や団体を募っております。

自治体・観光協会  
商工会・まちづくり

- イベント：試乗体験会
- 観光コンテンツ造成：レンタルやガイドツアー 引率ガイド養成含
- 地域の交通課題解決：免許返納車向けの4輪を含めた町作り

旅行会社  
宿泊施設

- 誘客：インバウンド含めた高付加価値ツーリズム
- 施設起点でモビリティの貸出。様々なニーズをキャッチアップ

鉄道・バス  
レンタカー

- 鉄道＋電動モビリティ
- 観光バス＋電動モビリティ
- レンタカー＋電動モビリティ



















Society  
Of  
Mononofu  
Autonomy

## 浪江駅西側エリアでの 馬とのふれあい

一般社団法人SOMA  
(ノーマ・ホースヴィレッジ運営)  
共同代表 高橋大就

2024年12月に室原地区に「ノーマ・ホースヴィレッジ」を開園、乗馬体験・レッスン、ホーストレッキング、ホースマンシップ講習、ホースセラピーなどのサービスを提供し馬事文化に根差した事業を展開しています。



Society  
Of  
Mononofu  
Autonomy

ノーマ・ホースヴィレッジ



浪江駅西側エリアに乗馬体験や餌やりなど馬とのふれあいができる場を設ける



道の駅なみえでのポニー乗馬体験



浪江駅西側エリアに馬車で移動できるエリアを設ける



Society  
Of  
Mononofu  
Autonomy

アイデア②：馬車移動



鏡石町さくら祭りでの馬車引き



Society  
Of  
Mononofu  
Autonomy

馬車移動：実績



浪江駅西側エリアで馬を使った農業を体験できる機会を設ける



Society  
Of  
Mononofu  
Autonomy

アイデア③：馬耕体験



酒田地区での馬を使った代かき

ノーマの谷での馬を使った耕起作業

- 馬と触れ合いたい方 / 乗ってみたい方
- 馬と触れ合う仕事がしたい方
- 馬の扱いができる方



ノーマ・ホースヴィレッジに馬と触れ合い  
に遊びに来てください。



ノーマ・ホースヴィレッジ  
住所：浪江町室原竹ノ花77  
電話：080-7200-7589



浪江駅西側地区公民連携まちづくりアイデア提案

# FUKUSHIMA WWW. クラブハウス兼 オンライン医療モール事業計画

スポーツ × 医療 × 地域活性化 プロジェクト

提案者

READY SOCIAL 株式会社

2025年11月

🚩 プロジェクト名称

**NAMIE WE ARE PARK**

📍 立地

**福島県浪江町 浪江駅西側地区**

💡 事業コンセプト

**スポーツを通じた地域活性化と  
ヘルスケア・ウェルネス拠点形成**



**JFA公式サッカーグラウンド** EU式スタジアム対応



**クラブハウス** RC造3階建 2,000㎡



**オンライン医療モール** E-PEL連携



# スケジュール（フロー）

2027年～2030年 ロードマップ

Q1

Q2

Q3

Q4

● 企画・設計・調整

● 建設・工事

● 運営・OPEN

R9

2027

## 調整地確保・基本設計

- ・用地交渉、測量調査
- ・基本構想策定



## 公募手続き

- ・公募開始
- ・提案書作成

R10

2028

## 企画立案・選定

- ・パートナー事業者選定
- ・事業協定締結



## 設計完了・実施設計

- ・詳細設計
- ・建築確認申請

## 工事契約

- ・建設業者選定
- ・着工準備

R11

2029

## 建設工事（工期：12ヶ月）

- ・クラブハウス建設（RC造3階）
- ・グラウンド整備（JFA公認人工芝）



テナント募集・契約締結

R12

2030

## 竣工・内装工事

- ・建物引渡し
- ・テナント内装

## プレオープン

- ・スタッフ研修
- ・試験運用

## GRAND OPEN

- ・F-REI本施設完成に合わせて開業
- ・オープニングイベント開催



F-REI（福島国際研究教育機構）を中心とした研究者・企業と、地域住民が交わる新たなコミュニティ拠点を形成し、多様なニーズに対応します。

## F-REI研究者・職員

想定数: 500名

### 主なニーズ・課題

- ✓ 研究活動と両立できる効率的な健康管理
- ✓ オンライン医療による待ち時間短縮
- ✓ 国際水準のウェルネス環境



## スポンサー企業・合宿誘致関連

想定数: 50社

### 主なニーズ・課題

- ✓ 従業員向けの福利厚生充実
- ✓ 健康経営の推進サポート
- ✓ 企業間交流・ネットワーキングの場



## 地域企業・住民

商圏人口: 広域

### 主なニーズ・課題

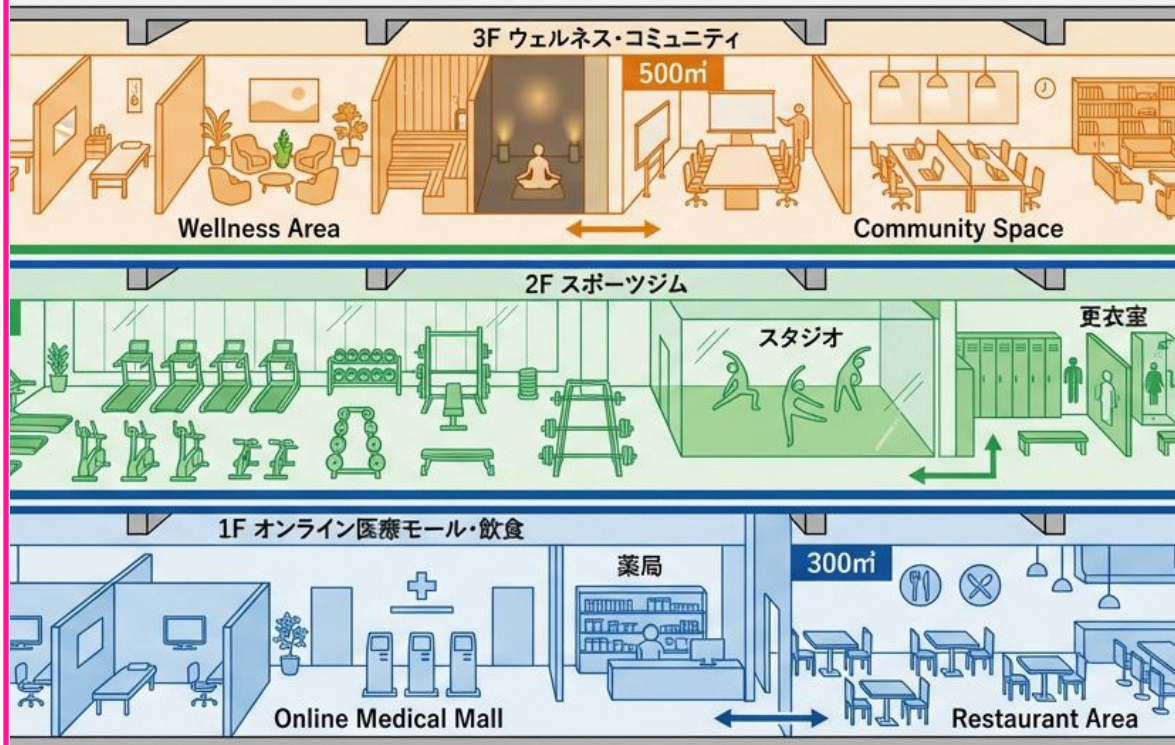
- ✓ 身近な健康づくり・運動拠点の不足解消
- ✓ 地域コミュニティの再構築・活性化
- ✓ スポーツイベント等による交流人口拡大



建物断面図イメージ

RC造 3階建

## RC造クラブハウス 断面図



### 🌸 3階 ウェルネス・コミュニティ

1,200㎡

ウェルネスエリア (700㎡): リラクゼーション施設、フレイル対策プログラムルーム

コミュニティスペース (500㎡): 会議室・イベントスペース、コワーキングエリア

### 🏋️ 2階 スポーツジム

1,500㎡

トレーニングエリア: 最新マシン完備、フリーウェイトゾーン

スタジオ: ヨガ、ピラティス、グループエクササイズ対応

付帯設備: 更衣室、シャワールーム、サウナ

### 👤 1階 医療・飲食・エントランス

800㎡ + 共用

オンライン医療モール (500㎡): 内科・整形外科対応、調剤薬局併設、デジタル聴診器

飲食店エリア (300㎡): カフェ・レストラン、スポーツ栄養指導対応メニュー

延床面積合計

約 4,000㎡ (共用部含む)